

一般社団法人日本ファームステイ協会よりご案内

【JPCSA 通信 Vol.5】

2019年1月31日発行

会員各位

一般社団法人日本ファームステイ協会事務局です。
いつも当会の活動にご理解頂き、誠にありがとうございます。

東京では12月末からほとんど雨が降っておらず、空気の乾燥によるインフルエンザが流行し始めているようですが、皆様の地域ではいかがでしょうか。
大寒に入り、寒さも厳しくなっていますので、どうぞご自愛ください。

当会では随時会員を募集しております。
皆様の周りに農泊に取組中、またはご関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、当会をご紹介いただけますと幸いです。ご質問等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

さて、今回はJPCSA最新情報、農泊関連情報、研修会情報をお届け致します。

<JPCSA 最新情報>

◆英国ファームステイ協会との技術協力合意書を締結

日本ファームステイ協会は、1月17日（木）に英国ファームステイ協会（FARM STAY UK、以下FSUK）（最高経営責任者：スティーブン・ハリス）との技術協力合意書を締結しました。

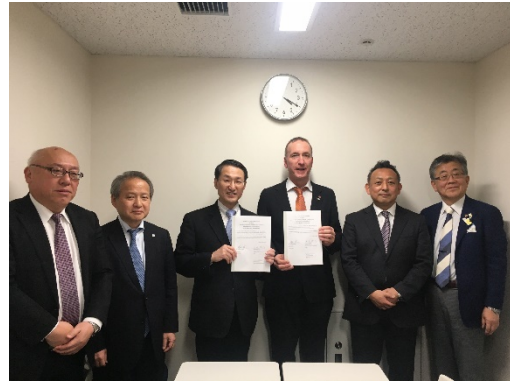
農泊先進国の一つである英国において、この分野のリーダー的存在であるFSUKから情報連携・技術サポートにより、日本の農泊のレベルアップやマーケット拡大を目指します。今後、これを皮切りにヨーロッパをはじめとする世界各国の農泊関連協会との連携を進めてまいります。

【合意書の概要】

1. 英国・日本双方における農山漁村における滞在施設の相互プロモーション
2. 日本における農山漁村の滞在施設の品質管理および審査システムに関する技術協力
3. 両国における農山漁村滞在型観光市場の開拓に向けた協力



調印の様子
平井会長理事（左）、
スティーブン・ハリス氏（右）



左から清水理事、藤本理事、平井会長理事、スティーブン・ハリス氏、上山代表理事、青木所長

詳細につきましては、以下のプレスリリースをご覧ください。

<https://jpcsa.org/wp/wp-content/uploads/2019/01/81117a995ac1d9213878c8907687764c.pdf>

◆人材育成研修プログラム提供のご案内

1月28日（月）より農泊に取り組まれる会員様のニーズに応じた『人材育成研修プログラム』の提供を開始致しました。研修は、当会や賛助会員各社が提供して参ります。随時プログラムを追加・更新していきますので、ぜひご活用ください。

こちらの詳細およびお申し込みにつきましては、以下をご覧ください。

人材育成研修プログラムのページ：<https://jpcsa.org/workshop/>

◆地方創生 EXPO 参加のご案内

2月27日（水）から3月1日（金）までの3日間、千葉の幕張メッセにて『第2回地方創生 EXPO』が開催され、当会発起人の一団体である全国農協観光協会のブースにて事業活動PRを行います。こちらのイベントでは、観光や地域産業、住みたくなるまちづくりのための支援などを行う企業・団体が一堂に会し、来場者の方へサービスの紹介を行います。農泊・ファームステイに取り組む上で抱えるお悩みに対する解決のヒントが見つかるかもしれません。

詳細につきましては、こちらをご覧ください。

URL：<https://www.sousei-expo.jp/ja-jp.html>

◆東北農泊推進セミナーのご報告

1月10日（木）仙台合同庁舎にて東北農政局主催『農泊推進セミナー』が開催され、日本ファームステイ協会も後援いたしました。

今回は東北圏内の自治体、農泊実践者を中心に約100名の方が参加され、第1部では、株式会社大田原ツーリズム 藤井 大介代表取締役社長によるご講演と日本ファームステイ協会 上山代表理事からの情報提供が行われ、藤井社長のご講演では、事業計画

書作成の重要性とそれに基づいた適正な価格の設定方法、年間を通した旅行者の受入について事例を交えて説明いただきました。その中でも、「顧客は安価な商品を選ぶのではなく、価格に見合った価値があるかを見て選んでおり、それを生み出す努力が不可欠である」というお話は、参加者にとって特に印象に残ったのではないかと思います。

また、第2部では農泊実践者や、農泊への取り組みを検討している地域の方の課題を解決するため、支援団体・企業との相談会が行われました。

相談会ではプロモーション方法、農家民泊・民宿の届出方法、事業の継続性・黒字化などの課題についての相談が多く寄せられていました。また、民泊受入家庭が増えないというご相談もあり、受入検討中の方に、一度優良地域で民泊体験をしてもらうことや、受入を決めた家庭に対しては、地域内の受入家庭に宿泊してもらいアドバイスをもらうなどの提案をしました。

当会は今後もこのようなイベントの開催へ積極的に協力するとともに、昨年12月に開設しました農泊ラウンジにて、随時ご相談を承って参ります。

イベント開催をご検討中の皆様、農泊の体制整備に課題を抱えていらっしゃる皆様、ぜひお気軽にお問い合わせください。

農泊ラウンジのページ：<https://jpcsa.org/concierge/>



上山代表理事による発表



相談会の様子

<農泊関連情報>

◆旅行サービス手配業（ランドオペレーター）登録をお急ぎください

12月のJPCSA通信でもご紹介いたしました。昨年1月4日より旅行会社からの依頼を受け、報酬を得て、ホテルなどの宿泊や、バスや電車などの運送、観光ガイドなどの手配を行う場合には、都道府県知事の『旅行サービス手配業』の登録が必要になりました。

農泊に取り組まれている協議会の皆様においても、旅行サービス手配を行っていらっしゃる方が多いのではないかと思います。まだ、ご登録がお済みでない場合には、登録をお急ぎください。登録を行わずに旅行サービス手配業を行った場合は、1年以下の懲役もしくは100万円以下の罰金、またはその両方が科されてしまいます。

※ただし、すでに旅行業登録をされている場合には、こちらの登録は不要です

登録には、旅行サービス手配業務取扱管理者研修の課程の修了が必要ですが、全国農協観光協会が新たに研修機関として登録され、2月より研修を開始いたします。ぜひ、ご活用ください。

実施日：2019年2月26日（火）～2月27日（水）の2日間

会場：東京都千代田区外神田 1-16-8 N ツアービル研修会議室

締切 : 開催日 2 週間前、定員になり次第締切 (25 名)

詳細・お申込につきましてはこちらをご覧ください。

旅行サービス手配業研修会ページ : <http://www.znk-kensyu.jp/tehai/>

< 研修会告知 >

◆ 自然・農林漁業体験における『リスクマネジメント研修』

2 月 18 日(月)~19 日(火)に東京にて自然・農林漁業体験におけるリスクマネジメント研修が開催されます。

安全管理マニュアルの作成のポイントや、体験活動における保険、事故・災害発生時の対応方法など、事故の防止策だけでなく、事故発生時および事後の対処法について学びます。詳細およびお申込みにつきましては、以下をご覧ください。

開催事務局 : (一社) 全国農協観光協会

リスクマネジメント研修会ページ : <http://www.znk-kensyu.jp/risk/>

いかがでしたでしょうか？

最後までお読みいただきありがとうございました。

日本ファームステイ協会では、メールマガジン上で、会員様が実施されます農泊関連イベントや研修の告知を承ります。掲載のご希望がございましたら、送信希望月の 1 カ月前までに下記 E-mail へご連絡をお願い致します。受信後、担当の者よりご連絡をさせていただきます。

=====

発行: 一般社団法人日本ファームステイ協会事務局

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-17-2

(TEL: 03-3526-2493 / FAX: 03-3526-2494)

ホームページ URL はこちら: <https://jpcsa.org/>

問い合わせ先 E-mail: info@jpcsa.org

=====